

福島県の水産業支援 兵庫県庁の食堂 で福島特産品メニュー提供

09月01日 15時43分



東京電力福島第一原発にたまる処理水の海への放出をめぐって、福島県産の水産物などの風評被害が懸念される中、兵庫県は、1日から県庁にある食堂で福島の特産品を使ったメニューの提供を始めました。

東京電力福島第一原発にたまる処理水の海への放出を受けて、中国が日本産の水産物の輸入を全面的に停止するなど、風評被害が懸念されています。

このため、兵庫県は、水産事業者を支援しようと、1日から県庁にある食堂で、福島の特産品を使ったメニューの提供を始めました。

昼前には、齋藤知事が食堂を訪れ、細切りにしたにんじんとスルメイカを甘辛く煮込んだ福島県の郷土料理、「いかにんじん」や相馬沖で取れたちりめんじゃこを使ったおにぎりなどを試食しました。

食堂では、今後も、メニューを変えながら、福島県産の食材を使った料理を提供する予定だということです。

試食した後、齋藤知事は「兵庫県と福島県は少し距離が遠いですが、福島県産の食材をスーパーなどで見かけたら購入するなど、支援の輪を広げていってほしい」と話していました。